

事業所名

ぱれっと草薙

## 支援プログラム

作成日

令和7年

3月

12日

法人（事業所）理念		障害児・障害者の選択肢を増やし可能性を広げ可能性を引き出します。自立を目標に、個別指導・集団指導をしていきます。										
支援方針		障害児及び障害児の保護者の意向、障害児の特性、障害児の適性、その他の事情をふまえた放課後等デイサービスの計画を作成しこれに基づき障害児に対して、サービスを提供すると共に、その効果について継続的な評価を実施していきます。その他の処置を講ずることにより障害児に対して適切かつ効果的に指定放課後等サービスを提供していきます。										
営業時間		平日	10時	30	分から	18	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		休日	8時	30		17		30				
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持・改善 ○生活習慣や生活リズムの形成 ○基本的な生活スキルの獲得 ○生活マネジメントスキルの育成		定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握） 生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）、構造化を意識した部屋のレイアウト・掲示・支援 衣服の着脱（外遊びや水遊び等の活動の前に重点的に取り組む） 食事、着替え、排泄の方法を身に付ける								
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 ○身体の移動能力の向上 ○感覚の特性への対応		公園での遊具での遊びやダンス、ストレッチ、運動指先トレーニング 事業所外での移動や交通機関の利用など、社会的な場面における移動能力の向上のための支援を行う。 写真カード、絵カード保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。								
	認知・行動	○認知特性の理解と対応 ○適切な認知と適切な行動の習得 ○行動障害の予防及び対応		構造化、生活の場面における環境の工夫。保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 認知の特性を理解し、本人に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。 小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮。1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成								
	言語 コミュニケーション	○コミュニケーションの基礎的能力の向上 ○言語の受容と表出、言語の形成と活用 ○コミュニケーション手段の選択と活用 ○読み書き能力の向上		表現方法を増やしたり、相手に伝わる表現の仕方を学べるよう支援する。 言葉だけでなく、表情や身振り、文字等を用いた意思のやりとりができるよう支援する。 文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用 個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き								
	人間関係 社会性	○アタッチメント(愛着)の形成と安定 ○情緒の安定 ○他者との関わり(人間関係)の形成 ○遊びを通じた社会性の発達		環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行う。 自身の感情や気持ちの変化の幅を安定させることに興味を持つことができるよう援助し、安定した情緒の下で生活ができるよう支援する。 一人遊びの状態から並行遊びを行い、職員が介入をしながら役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、社会性の発達を支援する。 見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。								
家族支援		居宅または事業所内での援助を行う。 保護者との面談やレスパイト、延長支援対応。 家族(きょうだいを含む。)からの相談に対する助言。						移行支援		保育所・児童発達支援事業所等との連携 移行支援法人内での就労B型支援事業との連携・協働 自立に向けた将来的な移行に向けた活動		
地域支援・地域連携		通所することもに関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援 相談支援事業所や学校、地域との連携を図り、社会課題の発見や課題解決に向け取り組む。						職員の質の向上		研修（事業所内研修・新入職員研修・外部研修の派遣・法定研修） 会議（事業所内会議・法人合同会議） 出勤時の朝礼、ケース会議の実施		
主な行事等		毎週土曜日や学校が長期休業日にはイベントを実施。障害者スポーツ・畑・クラフトの活動を中心として季節に応じたイベント（節分、ひな祭り、クリスマス会、夏の水遊び等）も実施。										